

# 輝け 田底っ子

第 20 号

文責：校長 益永 一幸

## 7月「学校集会」

## あの大谷選手が大切にしていること



### ～自分の目標を立てよう～

みなさんはこの人を知っていますか。（大谷選手の顔写真）  
 そうです。毎日のようにテレビや新聞などのマスコミでも取り上げられている「おおたにさ～ん」です。アメリカ大リーグロサンゼルス・エンゼルスに所属していて、リアル二刀流といってピッチャーもバッターもこなし、どちらも素晴らしい成績

を残している超一流の野球選手です。大谷選手は、野球ばかりでなく、人としても高い評価を受け、多くの人に愛されている選手です。その大谷選手が、高校1年生の時に監督の佐々木洋先生からの教えにより作ったものが話題になっています。これです。（大谷選手の目標達成シート）  
 このシートの真ん中には、大谷選手がなりたい強い夢が書いてあります。「ドラ1・8 球団」です。プロ野球選手になるためには、ソフトバンクホークスやジャイアンツなどの12の球団からドラフトという会議で選手として選ばなければなりません。大谷選手は夢を「8球団からドラフト1位指名」と決めたのです。そして、一番かなえたい夢「ドラ1・8 球団」のために必要な目標をその周りに、「体づくり」「コントロール」「キレ」「スピード160キロ」「変化球」「運」「人間性」「メンタル」という8個の目標を決めています。校長先生がびっくりしたのは、野球の目標ばかりを書いているかと思っておりましたが、大谷選手は、このように **○「運」・・・ごみ拾い、部屋掃除、審判への態度、本を読む、応援される人間になる、プラス思考、道具を大切に使う、あいさつ** **○「人間性」・・・愛される人間、計画性、感謝、継続力、信頼される人間、礼儀、思いやり、感性** **○「メンタル」・・・一喜一憂しない、頭は冷静に心は熱く、雰囲気になれない、仲間を思いやる心、勝利への執念、波をつくらない、ピンチに強い、はっきりとした目標・目的を持つ** という「心や体・生活の目標」をしっかりと描いていることです。

大谷翔平 2022

8-8 体のケア	8-1 キャッチボール	8-2 FSQ 90kg	1-8 ストレッチ改善	1-1 体幹強化	1-2 軸をぶらさない	2-8 角度をつける	2-1 上からボールを落とす	2-2 リストの強化
8-7 柔軟性	8-0 体づくり	8-3 RSQ 130kg	1-7 リストポイントの安定	1-0 コントロール	1-3 秘をなくす	2-7 おまなひ	2-0 キレ	2-3 半身主導
8-6 スタミナ	8-5 可動域	8-4 野球杯 銅3杯	1-6 下肢の強化	1-5 体を動かす	1-4 メカニカルコントロールをする	2-6 ボールを前テニス	2-5 回転数アップ	2-4 可動域
7-8 胸を膨らました 目的の如	7-1 喜愛 しない	7-2 頭は冷静 心は熱く	8 体づくり	1 コントロール	2 キレ	3-8 軸をまわす	3-1 下肢の強化	3-2 体重増加
7-7 ピンチに 強い	7-0 メンタル	7-3 雰囲気になれない	7 メンタル	7 ドラ1 8球団	3 スピード 160km/h	3-7 体幹強化	3-0 スピード 160km/h	3-3 肩周りの強化
7-6 波を つらくない	7-5 勝利への 執念	7-4 仲間を 思いやる心	6 人間性	5 運	4 変化球	3-6 可動域	3-5 ライナー キャッチボール	3-4 ピッチャー を増やす
6-8 感性	6-1 愛される人間	6-2 計画性	5-8 あいさつ	5-1 ゴミ拾い	5-2 部屋掃除	4-8 キャッチボールを増やす	4-1 フォーム完成	4-2 スライディング キレ
6-7 思いやり	6-0 人間性	6-3 感謝	5-7 道具を 大切に使う	5-0 運	5-3 審判への 態度	4-7 遅く落差の あるカーブ	4-0 変化球	4-3 打者への 変化球
6-6 礼儀	6-5 信頼される人間	6-4 継続力	5-6 プラス思考	5-5 応援される 人間になる	5-4 本を読む	4-6 スローと同じ フォームで投げ	4-4 ライナーから ボールに投 げコントロール	4-4 実行力を イメージ

このように、大谷選手は「心や体の目標」「正しい生活の目標」を書いて、今でも、その目標通りの「心や体の目標」と「正しい生活の目標」を貫いて頑張っている姿がテレビから伺えます。

私たちも、大谷選手を見習って、学習の目標だけでなく、「心と体に良い生活」「普段の正しい生活」の目標を立て頑張ると大きな夢がかなうでしょう。

## 小中一貫教育について（お知らせ）

現在、熊本市では小中一貫教育が推進されており、現在いくつかの中学校区がすでに「小中一貫校」としてのスタートを切っています。植木北中学校区の3校（植木北中学校・吉松小学校・田底小学校）も、昨年度「小中一貫教育モデル校」の指定を受け、3校で研究を進め、「（保）小中一貫教育目標」と「小中一貫カリキュラム」を作成しました。

今年度の準備期間を経たのち、来年度（令和5年度）より「小中一貫校」となる予定です。ただ、「小中一貫校」と言っても、下記の（1）～（2）のような「小中一貫校の分類」と（3）～（5）の「施設形態の分類」があり、それぞれに特徴があります。

### ★小中一貫校の分類

#### （1）小中一貫型小学校・中学校

- 目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成。
- 小学校・中学校は組織上、独立している。

#### （2）義務教育学校

- 目指す子ども像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成。
- 小学校・中学校の組織が一体化（1人の校長、1つの教職員組織）

### ★施設形態の分類

#### （3）施設一体型

- 小学校と中学校の校舎の全部又は一部が一体的に設置されている。  
（小学校と中学校の校舎が渡り廊下などでつながっているものを含む）

#### （4）施設隣接型

- 小学校と中学校の校舎が同一敷地又は隣接する敷地に別々に設置されている。

#### （5）施設分離型（※本校区はこの形態に該当）

- 小学校と中学校の校舎が隣接していない異なる敷地に別々に設置されている。

植木北中学校区の3校は、上記の（1）小中一貫型小学校・中学校となり、（5）施設分離型となる予定です。施設の統廃合はありません。

6月10日（金）には3校の先生方が植木北中学校に集まり、小中一貫校移行に向けた取り組みについて具体的な話し合いを行いました。8月下旬には、中学校主催で著名な先生をお招きしての講演会が実施される予定です。早速「小中一貫校」に向けた取り組みの第1弾としてこの講演会を「小中一貫の行事」と位置づけ、3校の先生方、3校の保護者の方々にも参加できる計画を進めております。詳細については後日あらためてお知らせいたします。